

ひかり

日本聖公会三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕1912年(大正元年)11月2日

2014年 1 月号

第622号



St. John the Baptist

洗礼者ヨハネ

イエスはお答えになった。「今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。」そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。

(マタイによる福音書第3章15節)

「みちびく星」

「起きよ、光を放て。」

あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝く。」

イザヤ書60章1節の、この言葉は「顕現日」に旧約朗読として読まれるものです。「顕現」と訳される「エピファニア」というラテン語は、人びとの前に姿を現すこと、姿を現して、何かを明らかにする、という意味をもっています。顕現日に顕らかにされたこととは何か。この日、わたしたちは何を祝うのか。それは、すべての人びとを救おうとして働く、神の深い愛です。その確かな神の愛は、馬小屋に生まれ、飼い葉桶に眠る幼子イエスによって、顕らかにされたのでした。幼子の誕生を祝うために、集められた羊飼いたち、そして、東方からの占星術の学者たちが、この神の愛を幼子イエスの中に、最初に見つけた人たちとなりました。御子の許へと賢者たちを導いたのは明るく大きく輝く「星」でした。福音記者であるマタイは、賢者たちがこの星を見て喜びに溢れたこと、また一方でヘロデ王がこの星に不安を抱いたことを記録しています。同じ星を見て、喜ぶ人

司祭 ニコラス 中川英樹

と、不安を覚える人。同じ星を見ただけにも関わらず、二人の生き方は全く違います。

でもここで大切なことは、そうした生き方の帰結ではなく、この星が、すべての人の前に、救い主を紹介する星であること、神の愛が、すべての人に向けられていることを顕らかにする星であるということ。星はすべての人に向かつて、その姿を隠すことなく、その輝きを顕し続けます。受け容れようが、否定しようが、この星はわたしたち皆に現れたのです。御子の許へ、神の愛へ、すべての人を導くために。ここに主の顕現を敬ぶ意味があります。

この星によって示された神の深い愛は、わたしたちの人生全体を支えます。わたしたちはある時期、その愛から離れることがあるかも知れませんが、けれども再び人生を支える神の愛を求めるなら、星はまた、わたしたちの人生の歩みに先立って輝くのです。この神秘に満ちた神の計らいに感謝して、この顕現のできごとの中に顕された、神の愛を心に深く覚えたいとおもいます。

1月・2月の予定

◆1月	
19日(日)	顕現後第2主日
20日(月)	殉教者主教ファビアン
21日(火)	殉教者おとめアグネス
22日(水)	聖書に学ぶ会(新約)
23日(木)	殉教者執事ビンセント
24日(金)	キリスト教いろは学⑧
25日(土)	使徒聖パウロ回心日
26日(日)	顕現後第3主日
27日(月)	主教教会博士ヨハネ・クリソストム
28日(火)	司祭教会博士トマス・アキナス
◆2月	
2日(日)	被献日
3日(月)	ヨーロッパの殉教者
4日(火)	2月逝去者記念聖餐式
5日(水)	聖書に学ぶ会(新約)
6日(木)	日本の殉教者
7日(金)	聖書に学ぶ会(新約)
8日(土)	顕現後第5主日
9日(日)	日本聖公会組織成立記念日
10日(月)	キリスト教いろは学⑨
11日(火)	顕現後第6主日
12日(水)	聖書に学ぶ会(新約)
13日(木)	聖書に学ぶ会(新約)
14日(金)	聖書に学ぶ会(新約)
15日(土)	顕現後第7主日

男子会だより 12月

12月14日(土) 今年の男子会総会は青山の「わいわい」で行われ、出席者14名でした。

中川司祭による夕の祈り、総会議事は活動報告、会計報告、役員は留任、連絡網確認、次年度計画は1月に検討、などを早々に決め、懇親会に入りました。

教会の外でのお祈りは久しぶりでした。そういえば昔銚子のホテルの芝生で聖餐式をしたこと、砵の緑地で子ども達とゲームをしたことなどが思い出されました。

(記・永井信行)

青年会だより 12月

フィリピン ステパノ教会にクリスマスカードを送付。昨年の台風被害について覚え、引き続き祈っていく。

1年間の恵みを分かち合う感謝会を開催した。

新年度に向けて、学生や若年層の方々に声をかけて共に教会活動を担っていくことができるように考えていく。

(記・村上紗知子)

第12回生と死を考える会 “大切な子育て”を考える

12月1日(日) 14時より三光教会聖堂にて第12回「生と死を考える会」が行われました。今回は田角勝先生(昭和大学小児科学講座教授)を講師としてお招きして「大切な子育て」を考える」と題したお話をうかがいました。子育てがテーマということもあり、当日の聴講は女性が多く見られました。

田角先生は、35年間小児科に携わり、近年は地域の障がい者支援にも携わっていらっしゃいます。現在、品川区にあるNPO法人「びゅあさぼーと」と同じく品川区にある社会福祉法人「げんき」の理事長です。これらでは、障がいを持つ子どもの生活・学習の支援や、障がい者の就労支援が行なわれています。

田角先生は、長年の小児診療を通して、たくさん子どもたちと関わり、その中から、近年の子どもたちを取り巻く変化を指摘されました。それは、学校、家庭、社会の環境変化により、従来の集団的生活形態からより個人的な生活を人は嗜好するようになり、親子

のコミュニケーションが希薄になっ
ているということでした。また、
発達障害の子供の数が増加してい
ること、虐待やいじめ、不登校の
子供の増加なども最近の大きな変
化です。



そのような変化を踏まえて、近
年の子育てにおいて大切な点を田
角先生は挙げられました。それは、
出来たことをほめるということ
でした。ほめることは大変困難
なことですが、人はほめられるこ
とにより、脳よりドーパミンが分
泌されて気持ちの良い感覚を得
られるので、次に対する意欲が
わき、精神的に安定するそうです。

子供の脳は経験によって育つので
す。その一方で、避けたことが
無視と挙げられました。また、
このようにも語られました。「困
った子がいると思うのではなく、
困っている子どもがいると思っ
ることが大切です。」そういう子供を
少し助けてあげることが、まわり
の子供たちの能力も少し引き上げ
ることになるのです。隣人愛を中
心に置くことを願う私たちキリス
ト者にとり、日々の有り方を問わ
れる貴重な機会となりました。

(記・藤田 誠)

(3)



チャリティ・コンサート

12月21日(土)午後7時から、コンビーニ・デイ・コリスタの協力を得て、エリザベス・サンダース・ホームの子どもたちのためのチャリティ・コンサートが開催されました。約150名の参加者があり、189,752円の献金が献げられ、当日、施設長の石井健一兄に手渡されました。皆さまのご協力に感謝します。

ステパノ会クリスマス



12月22日に行われた、クリスマス札拝と祝会では大人と子どもとあわせて、約50名の方々と楽しい時間をおすごしました。人形劇の香蘭のお姉さん、そして、サンタさん、素敵なプレゼントをありがとう。

クリスマス札拝

12月24日(火)の大晩祷には263名の出席がありました。久しぶりにお見かけする顔や近所の方と共にイエス様の誕生を祝い、一年のスタートを迎えられたことに感謝です。

聖書の言葉に耳をかたむけ、聖歌を歌いローソクの灯りに映し出された光と影を見て、すべての人が幸せでありますようにと心から祈る瞬間でした。

公 示

日本聖公会東京教区 三光教会 (定期)受聖餐者総会を下記のように招集します。

救主降生2014年1月12日

日本聖公会東京教区 三光教会牧師 司祭 ニコラス 中川英樹

記

日 時 2014年2月23日(日) 顕現後第7主日 聖餐式(Ⅱ)終了後

場 所 三光教会 聖堂

議 題 2013年度 教務報告承認の件、2013年度 活動報告承認の件

2013年度 会計決算承認の件 (会計監査報告)、2014年度 活動計画承認の件

2014年度 会計予算承認の件

※なお、本総会を欠席の場合は、議決の一切を議長に一任するものとさせていただきます。

財務委員会より

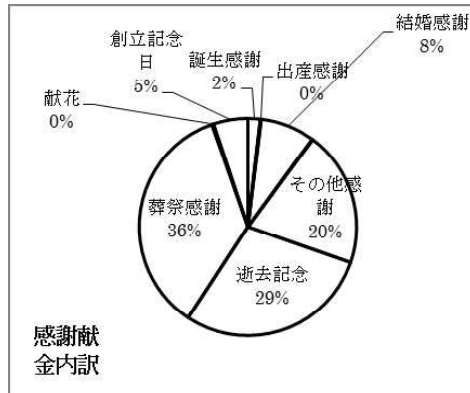
財務委員会より最近の教会会計の状況につきまして、御報告致します。

左記のグラフに表れておりますように二〇一一年度から昨年にかけて感謝献金が急増しています。これによりここ三年間の財政状況が好転して、昨年度は黒字決算となりました。皆さまのご理解と御恵みに感謝しております。



(4) 感謝献金と一口にいても、その種類は多く、教区の区分でも、

誕生、出産、結婚、結婚記念日、逝去者、葬祭、献花、創立記念日、洗礼、堅信、埋葬、病氣快復、その他感謝と十種類以上あります。昨年度の三光教会で捧げられた感謝献金の内訳を左記にグラフで示しました。



一目でお判りのように、逝去記念、葬祭感謝が65%を占めております。ここで気になりますのが、逝去された方が多いという事は、その分、月約献金はどうなったかという事になります。それを表したのが、下記のグラフです。勿論、因果関係は判りませんが、この三年間の減少傾向は気になる所です。特に昨年は過去十年間でも最低で、

長期的に見ますと黒字転換も手放して喜んではいられません。



ここで、最近耳に致しました、二点のご意見につきましてこの稿をお借り致しましてご説明したい事が御座います。

一点目は献金の振込についてです。お身体が御不自由であるとか、遠隔地であるとかの事から献金を振込としたいが、振込まれた献金の取扱いはどうなるのかとのお尋ねがありました。現在は振込の連絡があった時点でそれを引き出しまして、その方のメールボックスにある献金袋に納め、次の主日に

お捧げして聖別された後に整理させて頂いております。従いまして礼拝にご出席されてお捧げされたものと同様に扱われております。

もう一点は、建築献金です。もう立派な聖堂が出来たのに未だ建築献金が必要なのかとのお尋ねがありました。今回の建築に着手する際、建築積立金では工事費用の全額には不足致しております。

その為、東京教区と管区から二千五百万円を借入し、二〇一一年より、毎年五百万円ずつ返済しております。従って完済まで五年を要するので二〇一六年に終了致します。ですから、それまでは建築献金のご継続をお願い致します。

借入金返済が終了すれば、三光教会としても一息つく訳ですが、経年と共に諸所に修繕が発生し、修繕の必要も予想され、現在の建築積立の何分の一かは継続する事も検討しなければならぬかもしれないと考えております。

教会運営上の日常財政の問題や、不定期に発生する修繕費用等の問題は、今後の検討課題として解決に努力致しますと共に、祈りを通して神の御恵みを期待したいと思っております。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時からお昼までご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

- ・礼拝様式に馴れない方は、礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。
- ・礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるもので、金額は自由です。
- ・その他、わからない点は隣の席の方か入口の案内係におたずねください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校) 礼拝
午前10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式